

メッセナゴヤに出展

防草ブロック 愛知県知事が視察

第10回メッセナゴヤ2015

を訪れ、雑草が自ら成長を止める

防草技術の仕組みが、従来技術や

製品を不要とし、CO₂削減や大

きな経済効果を生むとの説明に感

心しながら耳を傾けた。

(主催＝愛知県・名古屋市・名古屋商工会議所)が11月4日から7日まで、ポートメッセなごや(名古屋市港区)で開催され、全国防

草ブロック工業会(会長＝矢野明正氏)の東海地区8社が防草ブロックと防草エレファンドレン(防草グレーチング)を出展した。

愛知県内の優れた環境技術を有する中小企業を紹介する「愛知県(環境ビジネス)」ベースへ共同出展したもので、開催初日には大村秀章愛知県知事(写真)が同ベース関係者を含め、延べ6万4000名に達した。

メッセナゴヤは「新たな価値を生み出す未来交流」をテーマと

する国内最大級の異業種交流展示会で、今回は1346企業・団体

が出演。講演会やビジネスセミナー・企業や学生による研究発表等のイベントも連日開催され、会期中の来場者は一般や企業、自治体

受験申込者は初級・中級・上級合わせて2659名と過去最多を記録した。このうち学生が1393名と初めて学生以外を上回った。

矢野明正会長は、「愛知の産業・製品はレベルが高く、高度な技術力で日本を支えてきた企業の展示も多い。このような中で当工業会のベースにも多くの異業種の方々に立ち寄つて頂いた。我々の製品技術によるCO₂排出量削減効果と大きな経済効果を期待できる事が評価されたのではないか」と各自治体の採用も増え続けており、今回の展示会

が開催され、全国防草ブロック工業会事務局、電話0565(43)3700。

コン検受験申込 2600名超に

過去最多を更新

全国コンクリート製品協会は11月14日、全国10都市のメイン会場でコンクリート製品検定2015(コン検)を実施した。

コン検はコンクリート製品が広く社会で果たしている役割をアピールすること狙いに2010年にスタートし、今回が6回目。受験申込者は初級・中級・上級合わせて2659名と過去最多を記録した。このうち学生が1393名と初めて学生以外を上回った。

今日は東京大学と東京工業大学も学校会場として参加しており、当初コンクリート製品業界関係者が殆どだったコン検受験者は学生や一般市民へ広がりを見せている。

当日は試験に先立ちDVDによるコンクリート製品に関するレクチャーが約45分間行われた。レクチャーでは、「セメントを固めたものがコンクリート製品が活躍している」と説明した。

さらにコンクリート製品を使用分野別に分類し、「U字溝や歩道境界ブロック、道路側溝・積み弊は、コンクリート製品で施工することが標準になつて

いる。また道路の拡幅に使う張出歩道・車道など、コンクリート製品でなければ施工できない工種もある。側溝の蓋のガタツキ音を抑制したり雨天に滑りにくいよう

でも多くの皆様に我々の防草技術を認めて頂き、大きな手応えを感じている」と述べている。

【問合せ先】全国防草ブロック工業会事務局、電話0565(43)3700。



コン検試験会場

表面を仕上げたり擁壁の表面に植樹や緑化ができるような構造にしたり、我々の生活目線で細やかな工夫がなされるのもコンクリート

製品ならではと言える」と紹介した上で、コンクリート製品は「強い・固い・重い」という特性を活かして地下に埋められていたり、道路の路肩や河川・海洋にあつたりと、普段目につきにくい所で市民生活を支えている縁の下の力持ちだと説明した。

さらにコンクリート製品の設計、コンクリート製品工場、生コンとコンクリート製品の違いや特長などについて触れ、「コンクリート製品は製品設計に精通した技術者が使用条件に応じて基準や指針と照らし合わせながら設計している。コンクリート製品は品質管理の行き届いた工場で製造するため品質が安定しているが、場所打ちが適している現場もある。製品と場所打ちを使い分け、両者が共存・補完して効率的に構造物を作ることが重要だ」と説明した。

コン検は、全コン会員社が設ける

全国のサブ会場と学校関係者による学校会場でも15日から29日にかけて実施した。合格ラインは

全コンのホームページ上で行われる。なお、合格者には合格証書と合格カードが送付される。



説明に耳を傾ける大村知事(右)